

## [災害統計]

# 平成 20 年における車両系荷役運搬機械等による 死亡災害の発生状況

### 1. 全般的状況

平成 20 年のフォークリフト等の車両系荷役運搬機械等（貨物自動車を除く。）に起因する労働災害による死亡者数は 32 人で、前年の 37 人に比べ、5 人（13.5%）の減少となった。

種類別、業種別の死亡者数は表 1 のとおりである。

種類別では、フォークリフトに起因するものが 30 人（93.8%）と圧倒的に多く、次いで不整地運搬車 1 人（3.1%）ストラドルキャリアー 1 人（3.1%）となっている。業種別では、製造業で 12 人（37.5%）と最も多く、陸上貨物運送事業が 6 人（18.8%）で続いている（その他の事業を除く）。

種類別、事業場規模別の死亡者数は表 2 のとおりである。

労働者数 10～29 人が 11 件（各 34.4%）と最も多く、続いて 100～299 人未満の事業場で 6 人（18.8%）であり、50 人未満の事業場では 18 人（56.3%）と 5 割強を占めている。

種類別、年齢区分別の死亡者数は表 3 のとおりである。

50 歳以上の高年齢労働者が 18 人（56.3%）で、全体の 5 割強を占めている。

### 2. フォークリフトによる災害状況

種類別で最も多いフォークリフトの業種別、事故の型別の死亡者数は表 4 のとおりである。

「はさまれ、巻き込まれ」によるものが 18 人（60.0%）、「激突され」によるものが 5 人（16.7%）、以下、「墜落・転落」、「転倒」、「激突」によるものが各 2 人（6.7%）となっている。

「はさまれ、巻き込まれ」では、一人作業中（運転中・修理中等）の事例が 9 人（30.0%）発生していて（内 1 人は無資格者）、誤って操作レバーに触れマストとヘッドガードの間等にはさまれる災害や、走行中、運転者の確認不足により、他の労働者がフォークリフトにひかれる災害が多い。また、「激突され」では、歩行中の作業者がフォークリフトや積載物に接触し激突された例が多い。

フォークリフトを用いて作業を行う際は、作業場所の状況、フォークリフトの種類及び能力、荷の種類等から、作業方法（人数、輻輳作業）を十分に検討し作業計画を定め、これに基づき、必要な資格を持った者が作業を行う必要がある。

### 3. フォークリフト以外による災害状況

不整地運搬車では「一人で運転中沢に転落」（建設業で発生）により 1 人、また、ストラドルキャリアーでは「前進中のストラドルキャリアーに接触」（港湾荷役業で発生）による死亡災害が発生している。

運行経路の安全確保、適正な作業計画に基づく安全な作業の徹底を図る必要がある。

（情報提供 厚生労働省）

**表1 車両系荷役運搬機械等の種類別・業種別死亡災害発生状況** (平成20年)  
(単位:人)

業種 種類	製 造 業	鉱 業	建 設 業	交 通 運 輸 事 業	陸 事 上 貨 物 運 送 業	港 湾 荷 役 業	林 業	そ の 他 の 事 業	計	
									商 業	
フォークリフト	12	-	1	1	6	1	-	9	6	30
ショベルローダー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
フォークローダー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ストラドルキャリアー	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
不整地運搬車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
構内運搬車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	12	-	2	1	6	2	-	9	6	32

**表2 車両系荷役運搬機械等の種類別・規模別死亡災害発生状況** (平成20年)  
(単位:人)

規模 種類	規模						計
	1~9人	10~29人	30~49人	50~99人	100~299人	300人以上	
フォークリフト	3	10	3	5	6	3	30
ショベルローダー	-	-	-	-	-	-	-
フォークローダー	-	-	-	-	-	-	-
ストラドルキャリアー	1	-	-	-	-	-	1
不整地運搬車	-	1	-	-	-	-	1
構内運搬車	-	-	-	-	-	-	-
合 計	4	11	3	5	6	3	32

**表3 車両系荷役運搬機械等の種類別・年齢別死亡災害発生状況** (平成20年)  
(単位:人)

年齢 種類	年齢						計
	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	
フォークリフト	-	3	4	7	5	11	30
ショベルローダー	-	-	-	-	-	-	-
フォークローダー	-	-	-	-	-	-	-
ストラドルキャリアー	-	-	-	-	-	1	1
不整地運搬車	-	-	-	-	-	1	1
構内運搬車	-	-	-	-	-	-	-
合 計	-	3	4	7	5	13	32

**表4 フォークリフトによる事故の型別・業種別死亡災害発生状況** (平成20年)  
(単位:人)

業種 種類	製 造 業	鉱 業	建 設 業	交 通 運 輸 事 業	陸 事 上 貨 物 運 送 業	港 湾 荷 役 業	林 業	そ の 他 の 事 業	計	
									商 業	
墜落, 転落	-	-	-	-	1	-	-	1	-	2
転倒	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2
激突	1	-	-	-	-	-	-	1	1	2
飛来, 落下	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
崩壊, 倒壊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
激突, され	2	-	-	-	1	-	-	2	1	5
はさまれ, 巻き込まれ	7	-	1	1	3	1	-	5	4	18
破裂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
交通事故	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感電	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	12	-	1	1	6	1	-	9	6	30